

物語を紡ぐ



北九州市長 武内 和久



北九州市という街は、「物語」にあふれた街です。たとえば、「五つの個性の違う街が、世界でも例を見ない対等合併を実現し、その多様性を謳歌しています」や「鉄の街として栄えながら、衰退と公害の苦難に遭ったけれども、それら乗り越えて、環境先進都市として生まれ変わったのです」など、街全体にいろいろな「物語」が埋まっています。

このたび、市制60周年を記念して、北九州市の歴史の中で特に環境分野において紡がれてきた「物語」を、関係者の皆さんと掘り起して『北九州市の環境ビフォーアフター』としてとりまとめました。これまで北九州市と共に歩んでこられた市民の皆さんとこの「物語」を共有し、また、未来を担う世代に語り継いでいきたいと思っています。

この『北九州市の環境ビフォーアフター』では、「物語」の中に北九州市の魅力も盛り込んでいます。住みやすさや自然の豊かさなどの面での魅力はもとより、人のつながりや優しさや熱さ、率直で裏表のない人柄など市民力に基づく魅力、さらには五市合併に伴いさまざまな文化を受け入れてきた包容力や多様性など、多面的な魅力に溢れています。

本書をご覧になった皆様が、これまでの北九州市の歴史や取り組みにいま一度触れ、この街が体現したこと、さらには「一歩先の世界観」を感じていただければ幸いです。

INDEX

- 市長挨拶 2
- 目次 3
- 「市民力」のはじまり～公害克服～ 4
- 環境国際協力からビジネスへ～海を越えた公害克服技術～ 6
- エコタウン事業 発進!! 8
- ごみ処理のうつりかわり～混ぜればごみ、分ければ資源～ 10
- 全国に先駆けたPCB処理事業～産業廃棄物の適正処理～ 12
- 東日本大震災の復興支援 14
- 自然の宝庫！自然の恵みと再興～ネイチャーポジティブ～ 18
- 北九州市の環境の未来 19
- あとがき 23

1960年代 産業の発展と公害の深刻化

1964年 第一回北九州市環境衛生大会◎北九州市

1960年代 1964年 第一回北九州市環境衛生大会◎北九州市

1970年代 公害の克服

1987年 「星空の街」選定

1992年 国連自治体表彰

1980年代 環境国際協力開始

1980年 KITA設立

大連市の環境改善

1997年 エコタウン事業承認

エコタウン事業開始

2001年 受け入れ決定

PCB処理

2004年 施設操作開始

2006年 ごみ収集制度見直し

2009年 指定ごみ袋導入

2010年 アジア低炭素化センター開設

2012年 がれき処理受け入れ

東日本大震災復興支援

2017年 行幸啓

2023年 「福岡県水素拠点化推進協議会」設立

グリーン成長

2024年 最終搬入

生物多様性

2010年 「生物多様性戦略」策定

2023年 「福岡県水素拠点化推進協議会」設立